

— 宮司の祝詞奏上 式年大祭(10月15日) —

阿蘇神社 <http://asojinja.jp>

社報 あそみや

平成26年11月1日

第 60 号

発行所

阿蘇神社社務所

多良見町化屋862

☎ 0957-43-5235

御鎮座四八〇年を迎えて

阿蘇神社は天文三年秋に熊本県一ノ宮の阿蘇神社(旧官幣大社)より御分霊をいただき、喜々津村の鎮守の神として創建されました。当初は囲名の地に祀られていましたが、九十年余を経て現在の地に遷したと伝えられます。現在の御社殿は御鎮座四五〇年を記念して造営されたもので、昭和五十八年十一月に竣工、多数の氏子が祭員として奉仕し、遷座祭と奉祝大祭が斎行されました。

阿蘇神社

宮司 大島 大明

爾来十年ごとの例祭には、神社本庁より献幣使の参向を賜り、式年大祭として斎行しております。顧みますれば、昭和六十三年九月に鹿児島県神社庁より転任、以来神社総代・評議員各位を始め多くの氏子崇敬者の皆様方にご支援とご高配をいただいで参りました。今後とも微力ながら、神明奉仕に努めて参る所存でございますれば、更なるご支援とご高配を賜りますようお願い申し上げます。

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であって、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。
 神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を発揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。
 ここにこの綱領をかかげて向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。
 一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、
 明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと
 一、世のため人のために奉仕し、
 神のみこともちとして世をつくり固め成すこと
 一、大御心をいただきてむつび和らぎ、
 国の降昌と世界の共存共栄とを祈ること

御鎮座四八〇年式年大祭を齋行!!

去る十月十五日に阿蘇神社の例祭が齋行されました。本年は御鎮座四八〇年という節目の年に当たるため、「御鎮座四八〇年式年大祭」として齋行されました。

定刻宮司以下祭員、神社本庁よりの献幣使(長崎県神社庁吉村正徳副庁長)及び随員が参進して所定の座に著き、祭典が開始されました。

先ず御本殿の御扉を開き、神饌



—神社本庁よりの幣帛供進—

を供した後に宮司が御鎮座四八〇年を奉祝し更なる御加護を賜うことを祈念する祝詞を奏上しました。次いで神社本庁よりの幣帛料・長崎県神社庁よりの玉串料が献幣使



—巫女の神楽舞奉納—

随員より宮司に授受され、宮司はこれを捧持して神前に進み案上に供えました。

次に献幣使が式年大祭を言祝ぐ祭詞を奏上しました。引き続き巫女が笛太鼓にあわせ神楽舞を奉納、

その後宮司・献幣使・参列者の代表が順次玉串奉奠を行いました。祭典終了後は社務所へ移動、直会を催し例祭を祝いました。

例祭に際し左記の通りご献納を賜りました。ご芳名を記しお礼を申し上げます。《順不同・敬称略》

◇幣帛料 神社本庁

◇玉串料 長崎県神社庁

◇初穂料 慈恵病院 松本卓郎、
脩森商会 森 誠司、山口初實、
榊雄苑 松山敏雄、北島守幸、木

下政儀、榊森開発 森 強、松山

弥八、八江利春、宮嶋 博、溝上

一盛、向井徳磨、J A長崎西彼喜

々津支店長 森 浩幸、同実行組

合長会会長 森 秀人、山口眞昭、

白石幸夫、峰誠一郎、村瀬健一郎、

西平 隆、相川十九生、草野 敏

池田芳信、内村典秋、持永隆行、

山田豊明、松森恒一、徳永廣治、

嶋田弥八郎、岩本 勲、関山雅孝、

前田信太郎、吉野 徹、松尾清人、

大久保治賢、浦嶋政美、前川 功

小川虎彦

◇献 酒 十八銀行多良見町支店

長 矢野祐介、親和銀行多良見支

店長 山下 博、たちばな信用金

庫多良見支店長 水口潤二

以 上

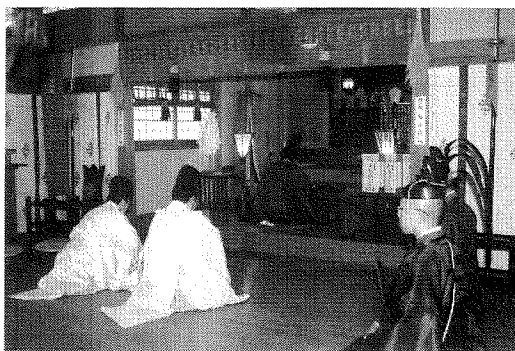
◇式年祭

式年祭とは、定められた年ごとに行われる祭り、代表的なものとして伊勢神宮の式年遷宮があります。伊勢神宮では二〇年ごとに御社殿・御神宝を同じように造り替え、神様をお遷しいたします。

阿蘇神社は一〇年ごと、鹿島神宮や香との神宮では十二年ごと、諏訪大社では七年ごとに式年祭として祭事が行われています。

◇献幣使

献幣使とは神社の例祭(創建など神社にとって由緒ある日)に神社本庁より幣帛(神前に供える品)を奉り祭詞(祝詞)を奏上します。



—宮司玉串奉奠—

御鎮座四八〇年式年大祭祀詞

是乃喜々津乃里乃底津磐根爾大宮柱太敷立氏高天原爾千木
 高知里氏靜宮乃常宮登鎮里坐須掛介麻久母畏伎健磐龍命乃大前爾
 宮司大島大明恐美恐母白左久大神乃鎮里坐須御社波志母天文
 三年甲午乃年肥後國阿蘇一ノ宮爾鎮座須本宮与里喜々津乃
 里乃永久乃鎮守登御神靈乎遷志齋比奉里氏与里歲月乎重爾今年波
 志母御鎮座四八〇年乃日出度伎年登春里叔礼兼十年每乃記念乃
 大御祭乎仕爾奉留登十月十五日乎生日乃足日登選毘定米氏大神
 乃高伎尊御惠乎仰奉里稱奉留登諸大前爾參集侍里氏御食御酒
 乎始米氏海川山野乃種種乃味物乎机代爾置足良波志神社本庁与
 里乃幣帛献奉里亦長崎県神社庁及御氏子崇敬者与里乃玉串
 料乎母供爾奉里氏稱辞竟奉留状乎平良介久安良介久閑食志給比大
 前爾奏伝奉留御神奈乃技乎母米具志字牟加志登見曾奈波志氏天
 皇乃大御代乎手長乃御代乃嚴御代登齋比奉里給比大神乃領有
 坐須御氏子崇敬者乎始米天下四方乃国民爾至留麻仁爾大神乃乃広
 伎厚伎恩頼乎弥遠爾蒙良志米給比各母各母清伎明伎直伎正志伎
 真心以知圧負持都職業爾勤美励美互爾睦毘和美都都弥益益爾世乃
 人人乃幸福乎進米志米子孫乃八十統五十榎八桑枝乃如久立崇
 衣仕奉良志米給爾登恐美恐美母白須

◇総代会便り

近年総代会の活動を含め、神社の行事等への問い合わせが多くなりました。氏子の皆様に関心を持っていただくことは、神社としても喜ばしいことであり、平成二十六年度の概要(含予定)を記します。

四月一日 神社総代異動

退任 船津 宮嶋 博 殿
 就任 船津 浦嶋政美 殿

四月七日 監査会

評議員より選出された監事二名が前年度の会計監査を行う。

五月十五〜十六日

本殿屋根にかかる枝、その他古損木の伐採、ツツジ等の剪定作業を総代全員で実施する。

五月二十六日

社務所の白蟻予防消毒作業業者に委託(五年保証)する。

五月三十日 評議員会

総代会の予決算書及び事業計画等を審議、奉納相撲大会収支報告書は実行委員会より説明。本年度の監事選任した。

◇監事新任

井樋ノ尾 草野 敏 殿
 船津 高松 悟 殿

七月十八日 西彼支部総代会

西彼支部総代会の総会及び研修会で小川虎彦、浦嶋政美の両総代が参加した。

九月三〜四日 中央研修会

長崎県神社庁主催の総代研修会で、佐世保市で開催された。吉野徹副会長が永年の功績により神社庁長表彰を受賞した。

九月十四日 奉納相撲大会

穂上祭に引き続き恒例の奉納相撲大会が開催された。

十月十四日 注連縄取り付け

例祭前日のため、第一鳥居他への注連縄、竹と椎の木の飾り付けを行う。

十月十五日

例祭を斎行する。本年は御鎮座四八〇年であり、神社本庁よりの献幣使の参向のもと、式年大祭として祭典を執行した。

◇以降は予定

十一月二十三日 新嘗祭

十二月 七日 注連縄作り

十二月二十九日 門松他正月準備

十二月三十一日 初詣客の接待他

一月 中旬 節分祭の準備

二月 三日 節分祭

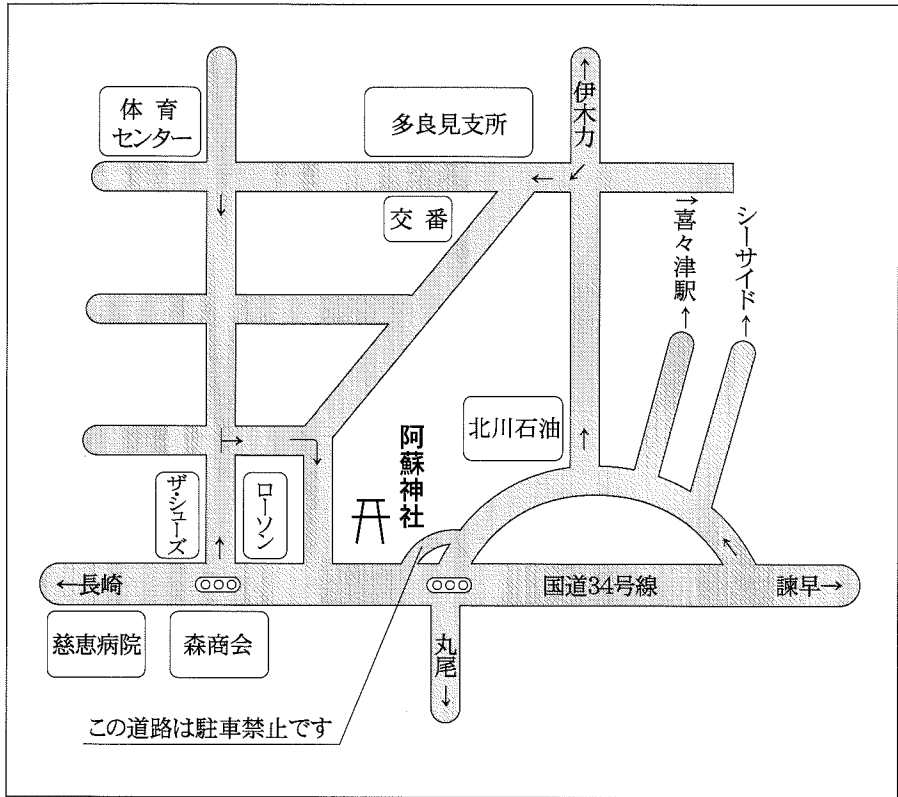
二月 四日以降

節分祭の後片付け

二月 十一日 紀元祭

七五三詣は阿蘇神社へ!!

男女三才を『髪置』、男児の五才を『袴着』、女児七才を『帯解』または『紐解』と称し、いずれも子供の健やかな成長を願う行事です。ご家族お揃いでご参拝下さい。



平成二十六年の七五三祝	数え年
男女三歳	平成二十四年生
男五歳	平成二十二年生
女七歳	平成二十年生

◎ お知らせ ◎

◆十一月八日(土曜)、九日(日曜)、十五日(土曜)、十六日(日曜)の四日間は、七五三を中心に受け付けます。

☆受付時間 午前十時～午後四時
これ以外の日時にご参拝予定の方は、出張祭典などで留守をすることもございますので、お手数ながら事前に予約をお願いします。

☆駐車場に限りがございます。乗り合わせてお越し下さい。

◆ 編集後記 ◆

十月十五日は阿蘇神社の例祭日で、特に今年には御鎮座四八〇年という節目の年をむかえました▼折しも当日は長崎国体の真っ直中。町内でも、カヌー競技とゴルフの二種目が開催されており、記憶に残る一日となりました▼九月二十七日には木曾の御嶽山が噴火、多くの人命が失われました。また今年には台風・ゲリラ豪雨などによる被害も甚大なようです。犠牲者のご冥福を祈ると共に、被災地の早期の復興を願っています。▼早いもので今年も残り少なくなりました。ご自愛専一にお過ごし下さい。